

衆院選の結果について

コロナ禍の中初めて実施された国政選挙において、与党が国会を安定的に運営できる議席数を確保したことは、感染防止と社会経済活動の正常化に向けて、政策の継続と安定を国民が求めた結果であろうと思う。ワクチン接種が進展し、徐々に社会活動が再開されてきているが、依然として、中小企業は非常に厳しい経営環境に置かれており、先行きが不透明な状況が続いている。

まもなく発足する第二次岸田内閣には、まずは直面する課題として、感染が落ち着きを見せる今こそ、再拡大を見越した医療提供体制の拡充やワクチン接種を計画的に推進し、二度と緊急事態宣言等の発出が必要のないよう、感染症対策を万全に進めていただきたい。また事業継続と経済成長を促す経済対策をいち早く策定し、着実に実行することで、信頼を得られる政権運営に全力を挙げていただくことを期待している。

ポストコロナを見据え、来年度に文化庁移転を契機として進展が期待される地方創生をはじめ、財政再建、持続的な社会保障のあり方、日本の強みである人材・技術への積極的な投資など、コロナ禍で対応できていない課題が山積している。ぜひとも成長と分配の好循環につながる中長期的なビジョンを早急に描き、国民を引っ張っていただきたい。

令和3年11月1日

京都商工会議所
会頭 塚本能交